笹木　健吾 議員

（一問一答方式）

①部活動の地域展開について
②大洲市のスポーツ施設について
③ふるさと納税寄附金について



部活動の地域展開における指導者確保の取組について

問　部活動の地域展開を進めるうえで、指導者の確保は重要な課題であると考えるが、現在どのような取組を行っているのか伺いたい。

答　本市では指導者の掘り起こしを進めるため、本年５月に大洲市地域クラブ活動指導者等人材バンク設置要綱を制定し、６月から学校部活動移行型地域クラブに携わっていただく指導者を重点的に募集しており、市公式ホームページへの掲載をはじめ、市内小中学校長やスポーツ団体等への周知依頼など、幅広く登録を呼びかけています。

具体的には、各中学校の部活動顧問へのヒアリングを行い、教職員アンケートで地域クラブ活動に関わってもよいと回答いただいた教職員に対して個別に説明を行い、登録を働きかけています。また、スポーツ少年団等の会議において、本市の方針等を説明し、登録を呼びかけるとともに、地域クラブ設立を希望する団体からの個別相談にも対応しています。

今後は学校部活動の活動状況や生徒の参加希望などを踏まえ、人材バンクに登録いただいた指導者とのマッチングを進め、活動体制や活動場所などの環境が整った段階で、運営団体が参加者の募集を開始することになります。

屋内スポーツ施設のエアコン・スポットクーラーの設置状況について

問　近年、夏の暑さは屋内であっても熱中症のリスクが懸念される状況となっている。現在市が管理する屋内スポーツ施設におけるエアコンやスポットクーラーの設置状況について伺いたい。

答　現在の設置状況については、総合体育館に大型スポットクーラー４台、スポットクーラー７台の計11台を、アリーナをはじめ、客席やロビーに配置しています。また、長浜スポーツセンターにはスポットクーラー２台と大型扇風機を配置し、利用環境の向上を図っています。

大会開催時にはスポットクーラーの貸出しを行うほか、施設利用者からの要望等を踏まえ、必要に応じて大型扇風機を購入するなど、できる限りの暑さ対策に取り組んでいます。

ふるさと納税寄附金の今年度の目標額と進捗状況について

問　今年度の目標額と進捗状況を教えてほしい。また、目標の達成に向けて、どのような取組を進めているのか併せて伺いたい。

答　今年度の寄附目標額は、前年度実績を大きく上回る７億円を設定していますが、現時点における進捗状況につきましては、本年８月末時点で寄附件数が4,647件、寄附金額が１億1,820万円となっており、前年度同期の１億7,428万円を下回る状況となっています。

この要因の一つとして考えられるのが、いわゆるふるさと納税のネットショッピング化です。近年のふるさと納税は、目的の返礼品をポータルサイト等で検索して、価格やお得感を比較して寄附する自治体を選択するのが一般的で、知名度の高い返礼品を割安に入手できる自治体に寄附が集中する傾向が強まっています。

また、近年は過度な返礼品競争を抑制するため、国の制度改正が進められており、募集経費の上限設定により積極的なPRを行うことが難しくなるほか、地場産品基準の厳格化により返礼品の出品を取りやめる事業者が出てくるなど、ふるさと納税の運営に一定の支障が生じています。

こうした状況の中で、目標達成に向けた取組として、大手ポータルサイトの追加導入や本市を訪れた観光客等が飲食や買物などをした際に、専用のアプリを使ってその場で寄附をすることができる現地決済型ふるさと納税の導入など、寄附の受付チャンネルの拡大を図っています。また、規格外の農産物等を活用したお得感のある返礼品や通年提供が可能な冷凍加工品、定期便など、多様なニーズに対応した返礼品の開発を進めるなど、受託事業者と連携して寄附の底上げを図る取組を進めています。